

『ブルース・ブラザーズ』

1980年／アメリカ／ジョン・ランディス監督作品

馬鹿馬鹿しさを楽しんで

会員 町田 弘香 (41期)



『ブルース・ブラザーズ』
DVD：1,572円(税込)
Blu-ray：2,075円(税込)
発売元：NBCユニバーサル・
エンターテインメント
※2022年11月の情報です。

このはちゃめちゃミュージックコメディが好きで、12回以上は見ている（本執筆の為にも2回見た）。音楽を楽しむ映画なので、CDを繰り返し聞くと同様に何回でも楽しめる（CDも持っているが）。コメディアンジョン・ベルーシ（ジェイク役）とダン・エイクロイド（エルウッド役）が主演。音楽（黒人音楽）が素晴らしく、アクシデントがあっても顔色一つ変えない主演の二人が味わい深い。黒いスーツ、ネクタイ、靴、レイバンのサングラス、ソフト帽という二人の格好は、往年のブルースミュージシャン達へのオマージュだそうである。

刑務所から出所したジェイクは弟分エルウッドとともに、世話になったカトリック系の孤児院に挨拶に行く。孤児院が5,000ドルの固定資産税を払えないため立ち退きの瀬戸際にあると聞いたジェイクは、5,000ドルの提供を申し出るが「盗んだ金などいらない」と断られてしまう。何とか孤児院を救いたい二人はかつて孤児院で世話を焼いてくれた管理人に相談し、ジェームズ・クリオウファス牧師の礼拝に出席することを勧められる。出席した礼拝でバンドの結成という神の啓示を受けたジェイクは、昔の仲間と“ブルース・ブラザーズ・バンド”を再結成し、コンサートで稼いだお金を固定資産税にあてようとする。納税期限は11日後。しかし、行く手には警官、州兵、ネオ

ナチ極右団体、カントリー・ミュージック・バンド、ロケットランチャーなどでジェイクの命をねらう謎の女が待ち受けていた。

音楽だが、出演しているアーティストがこれでもかといわんばかりに豪華である。孤児院の管理人役、牧師役、ダイナーの女店主役、楽器店の店主役、路上の演奏者役など皆、一世を風靡したミュージシャンである。その他、音楽とは無関係だが、ちょい役で、スターウォーズでレイア姫を演じたキャリー・フィッシャーやスティーブ・スピルバーグ、ツイギーなどが登場するのもちょっといい。また、物語の舞台となったシカゴの地元警察の協力を得たという、58台のパトカーを廃車にするシーンの迫力もすごい。

クライマックスはシカゴ市庁舎の税務課。丸腰のブルース・ブラザーズを追い、警官ばかりかSWAT隊、消防隊、果ては軍隊も駆けつけ、戦車、ヘリコプターまで入り乱れるさまが猛烈に馬鹿馬鹿しくて、笑わせる。

ちなみに、この映画は星野源さんの音楽ルートだそう。

とにかく、一度見て欲しい。黒人音楽に関心がない人でも、楽しめると思う。

なお、この原稿を書いている時点では、AmazonのPrime VideoとU-NEXTで定額見放題で見られるようである。